



■ 山 | 梨 | 大 | 学 | | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |



～ コーディネータコラム ～

2020/6/8



【令 02-5 号】



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報
をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信く
ださい。

コーディネータコラム

社会連携・知財管理センター
地域連携コーディネータ 内藤 久俊

ご承知のように 5 月 25 日、全国で緊急事態宣言が解除されました、今後は「第二波」が懸念される中「新しい生活様式」に則り、仕事も暮らしも対応していかなければなりません。何とも先行き不透明感の拭えない今日この頃です。

新型コロナウイルスへの山梨大学の取組として医学部では、新型コロナウイルス感染症に対して積極的に対応し、クルーズ船の感染者の受け入れや新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による髄膜炎の症例報告、ドライブスルーPCR 検査の実施などに取組んでおります。また工学部の研究者も下水中の新型コロナウイルスに関する世界初の総説論文を発表し、下水疫学調査の有用性を提唱しております。

そこで新型コロナウイルス禍の今、企業の現状と大学が企業と共に何ができるかを考えてみたいと思います。

県内では一部生活必需品販売業を除き、概ね 8 割～9 割程度の企業が、売上の減少を強いられ、業況が悪化。特に 4 月中旬から 5 月にかけては大幅な売上減少等により資金繰りの悪化を余儀なくされています。国の持続化給付金や雇用調整助成金及び政府系や民間金融機関の実質無利子融資制度等を活用し、何とか凌いでいる状況と思います。

そのような現実を踏まえ、一歩先を見通す中で、現実的な企業の課題を考えてみますと、例えば新型コロナ対策としての「非対面・非接触」という喫緊のテーマへの対応があります。これには「デジタルシフトによる新たなビジネスの創出」を一層加速させていくことが重要です。また

社員及びその家族への「心身の健康維持策」など、社会医学、社会心理学、スポーツ科学などの知見の活用も必要です。また中長期的な課題としては「新たな事業展開」への可能性を探る提案・助言などが求められるのではないかと思います。

そこで山梨大学では新型コロナウイルス禍の状況下において、研究・技術面での支援策として、本メールマガジンにてご紹介致しますが、新たに共同研究費を一部支援する「サポート型共同研究」を立ち上げ、企業の皆様の技術課題の解決及び研究費用面から支援致します。また従来の技術相談においても「インターネットを活用した技術相談」を導入し、企業の皆様への技術相談に関する利便性の向上を図っていきます。

このような時期だからこそ、次の一手を打つべく大学の研究や知見を活用してみても如何でしょうか。皆様からのご相談、ご意見をお待ちしております。

インフォメーション 目次

- 01: トピックス (4 件)
- 02: 助成事業および公募情報 (7 件)
- 03: 特許情報 (1 件)
- 04: 事務局からのお知らせ



-
- 01 トピックス (3 件)
-

◆山梨大学「サポート型共同研究」◆

いつもご支援をありがとうございます。

この度は COVID-19 による緊急事態環境でなかなか思うような活動ができず申し訳御座いません。

さて、今週月曜日の 5 月 25 日に、学内公示で「サポート型共同研究」について公募開始の掲示を致しました。HP 上での学外掲示がされましたので速報としてお知らせいたします。

<https://www.scrs.yamanashi.ac.jp/cooperation/2649/>

「サポート型共同研究」とは、企業様と大学とで共同研究をしようとする段階で、大学側から所定額のサポート資金を本学研究者側へ提供するものです。

※（ご注意）

あくまでも本学研究者が大学に希望を出して認められた場合に提供さ

れますので、企業側からは申請できません。

ちょっと厄介ではあるのですが、次の3つの区分があります。

- イ) 研究探索型 : 研究として初期であったりまだ基礎レベル
- ロ) 研究加速型 : 有望な成果が出そうな時期
- ハ) 実装加速型 : いよいよ商品化に向かう時期

但し、ガチガチに決めつけているわけでないので、それぞれ応相談になりますので、本学研究者や本学コーディネータなどへお気軽にお尋ねください。

イロハごとに大学から支援する金額が異なりますが、企業様にお出ししていただく分も変化します。

- イ) 研究探索型 大学：500,000 円 企業：500,000 円+30%
 - ロ) 研究加速型 大学：1,000,000 円 企業：2,000,000 円以上+30%
 - ハ) 実装加速型 大学：2,500,000 円 企業：5,000,000 円+30%
- (直接費には従来通り 20%の間接費の他に戦略経費 10%を上乗せさせていただきます。)

なお、最終締め切りは9月30日(水)ですが、予算に限界がありますので予定額に達した段階で終了となります。詳しくは、大学コーディネータなどにお問い合わせください。

◆クラウドファンディングによる研究資金の募集開始

ー日本のモモせん孔細菌病の被害を安全に最小限に食い止めたいー

本学工学部の小谷信二教授が、山梨県の名産品であるモモの病害「せん孔細菌病」の防除のための研究プロジェクトを立ち上げました。

モモせん孔細菌病は、結果枝、葉、果実被害を伴うため、農家の大きな減収に繋がる深刻な病気です。モモせん孔細菌病の防除には、農薬の散布だけではなく実際に被害状況を目視で確認して感染した枝や葉、果実を切除したり摘果することが必要となりますが、農家の高齢化が進み被害を確認するための高所作業での事故が増えております。

そこで、高解像度ビデオカメラを搭載したドローンを活用し、画像処理技術と組み合わせることで、被害箇所を自動的に検出することができるシステムを構築します。

この研究プロジェクトを一層推進するにあたり、クラウドファンディングにて研究資金を募ることといたしました。

「日本のモモ農家を守りたい。子供、孫の代まで美味しいモモを世界に届けたい。」というモモ農家の方の思いに、多くの方々からの応援・ご支援をお願い申し上げます。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/26311>

◆大村智記念学術館展示コーナー再開のお知らせ

大村智記念学術館は、感染防止対策を徹底したうえで、令和2年5月25日(月)より再開いたしました。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://omura-museum.yamanashi.ac.jp/868>

◆【やまなし産業支援機構】メディカル・デバイス・コリドー推進センターが開設されました。

やまなし産業支援機構内に、医療機器産業への参入をトータルサポートする専門組織である「メディカル・デバイス・コリドー推進センター」が開設されました。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/mdcc/>



■02 助成事業および公募情報 (7 件)

◆『サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金』◆

サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金（国内立地補助金）の公募が以下のとおり開始になりました。

執行団体はみずほ情報総研(株)、予算は2, 200億円（令和2年度補正予算）です。

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2020/k200522001.html>（経済産業省サイト）

<https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/kigyoricchi/index.html>
（関東経済産業局サイト）

本補助金は、地域未来投資促進税制
(https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/chiikimiraitoushi.html)

との併用も可能な制度となっております。

●サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金は7年ぶりの全国どこでも事業が可能な立地補助金です。

ポイント①建物も補助対象になります

ポイント②高い補助率で事業負担を軽減しサプライチェーン再構築を支援します

ポイント③補助上限 150 億円で大規模投資が可能となります

【事業の目的】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、我が国サプライチェーンの脆弱性が顕在化したことから、生産拠点の集中度が高い製品・部素材、又は国民が健康な生活を営む上で重要な製品・部素材に関し、国内の生産拠点等の整備を進めることにより、製品・部素材の円滑な供給を確保するなど、サプライチェーンの強靱化を図ることを目的とします。

補助対象：工場等、物流施設における建物・設備の導入

対象経費：①建物取得費、②設備費（必須）、③システム購入費

補助対象者：[大企業] 1/2 以内

[中小企業等] 2/3 以内

[中小企業等グループ] 3/4 以内

※要件 B の補助率は [大企業] 2/3 以内

[中小企業] 3/4 以内

補助上限：150 億円

事業期間：原則 3 年間(大規模案件は 4 年間)

※遡及適用あり、要承認（緊急経済対策閣議決定(4 月 7 日)以降）

これらにより、サプライチェーン強靱化を図るため、企業が選択した様々な取り組みを支援します。

※詳しくは基金設置法人ホームページをご覧ください

https://epc.or.jp/fund_dept/supplychain/kobo

【公募期間】

受付期間：5 月 22 日(金)～7 月 22 日(水)正午まで【必着】※郵送のみの提出となります。

※6 月 5 日(金)正午まで【必着】に提出したものについて、先行審査をし 6 月中に採択先を決定。(通常は 8 月以降採択先決定)

※事前着手について

補助事業の着手は原則として交付決定後ですが、本補助金の必要性・緊急性を鑑み、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」閣議決定日（2020 年 4 月 7 日）以降発生した経費についても補助対象経費について認められる場合があります。

以上の理由で事前着手をされる場合は、事前着手の承認を受ける必要がありますので、応募申請書と事前着手承認申請書を同時に提出して下さい。

事前着手を検討される場合、あらかじめ事務局までご連絡ください。

【公募要領等】

公募要領等詳細については以下のホームページより御確認ください。

https://epc.or.jp/fund_dept/supplychain/kobo（基金設置法人）

公募申請書作成の際のQ & A

https://epc.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/supplychain_QA.pdf

【補助要件】

〔要件 A〕生産拠点の集中度が高い製品・部素材の供給途絶リスク解消のための生産拠点整備事業であって、次のいずれかに該当するものです。

- ①生産拠点の集中度が高い製品・部素材の国内での生産拠点整備事業
- ②生産拠点の集中度が高い製品・部素材を極力使用しない技術を活用した生産を行う生産拠点整備事業

〔要件 B〕一時的な需要増によって需給がひっ迫するおそれのある製品・部素材のうち、国民が健康な生活を営む上で重要なものの生産拠点等の整備事業です。

〔要件 C〕①～③の全てを満たす事業です。

- ①複数の中小企業等のグループによる共同事業
- ②要件 A に該当する事業
- ③グループ化メリットを有する事業

【事務局】

提出先及び事務局連絡先※提出前（申請書作成時）に必ず事務局まで電話連絡してください（事務局による確認があります。）。

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-5 KDX日本橋 313 ビル 5 階
みずほ情報総研(株) 社会政策コンサルティング部（「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業事務局」担当）

TEL：03-6825-5476 FAX：03-6826-5060

MAIL：kokunaitoushi@mizuho-ir.co.jp<mailto:kokunaitoushi@mizuho-ir.co.jp>

HP：https://epc.or.jp/fund_dept/supplychain/kobo（基金設置法人（環境パートナーシップ会議）のウェブサイト）

関東経済産業局でも事前相談を受け付けております。以下のメールあてにお問い合わせください。

【問い合わせ先】関東経済産業局地域経済部

企業立地支援課 kanto-ritti@meti.go.jp<mailto:kanto-ritti@meti.go.jp>

◆【山梨県中小企業団体中央会】「インターシップ相談窓口」をオープンしました

県内企業でのインターシップ（就労体験）を通じて、県内大学生等の県内就職や県出身大学生等の U・I ターン就職を促進するために、インターシップ受入企業と学生のマッチングを支援します。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/9349386cfc217d9d8cd9e5e2c0955adc.pdf>

◆【山梨県中小企業団体中央会】「令和 2 年度やまなし 6 次産業化サポートセンター業務を開始しました

農山漁村における地域資源を活用し、農林漁業者等自らが経営の多角化や高度化を目指す農業の 6 次産業化を推進するため、「やまなし 6 次産業化サポートセンター」を設置しており、今年度も業務を開始致しました。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

[http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/やまなし 6 次産業化サポートセンター-2](http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/やまなし6次産業化サポートセンター-2)

◆オンラインモグジョブ参加企業募集

学生が地元就職・地元企業へ興味を持つきっかけを生む企画として、これまで実施してきました「モグジョブ」を、社会状況に対応した「オンラインモグジョブ」として実施します。

採用活動、学生との出会いを止めたくない企業の皆さまのご参加をお待ちしております。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/news/20200519/>

◆【やまなし産業支援機構】IoT 等活用支援事業について

やまなし産業支援機構内に「IoT 導入応援部隊」窓口を設置し、IoT 導入を検討されている企業に対して支援を行います。相談はもちろん専門家派遣も無料です。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/topics/627.html>

◆【やまなし産業支援機構】「令和 2 年度中小企業等外国出願支援事業」第 1 回公募のご案内

特許・実用新案・意匠・商標・冒認対策商標を外国に出願する費用の

1/2 を助成する「中小企業等外国出願事業」を実施します。
外国への特許出願を支援を希望される中小企業等の方々のご応募をお待ちしております。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/topics/626.html>

◆【中小企業庁】令和元年度補正予算「事業継承トライアル実証事業（後継者教育実施企業）」の募集期間を延長、「事業継承トライアル実証事業（後継候補者）」の募集を開始します

後継者不在の中小企業が、後継者選定後に行う教育について、有効な内容や型を明らかにし、標準化を進めることで、円滑な第三者承継の実現を後押しします。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/2020/200601jigyoshoukei.html>

<https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/2020/200602jigyoshoukei.html>



■03 特許出願情報 (1 件)
～山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します～

注) 特許出願情報については、クラブ会員のみへの提供となっております。
本掲載では非公開とさせていただきます。



■04 事務局からお知らせ

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員会社様の持っておられる技術課題を伺います。
ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

◆新技術情報クラブ会費納入のお願い

先日、年会費の請求書を送付いたしましたので、納入頂きますようお願い申し上げます。

これからも会員の皆様に有益な情報をご提供できるよう、努めていく所

存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

